

# 友達、ボランティアに誘ってみた

## 1. どんな友達？

同じ大学に通う2年生の男の子。大学に入ってからサークルや部活、ボランティアなどの課外活動をこれまで経験してきておらず、社会との接点はアルバイトのみ。アルバイト先と学校（休みがち）と家を往復する毎日を過ごしている。

## 2. どんなふう？



「これは私。こんな感じで  
清掃・消毒します。」

ボランティアで。ボランティア先はマクドナルドハウス。マクドナルドハウスは自宅から遠いところにある病院に入院している子どもと、その付き添い家族が利用できる滞在施設。施設を支えているのは地域のボランティアの人と個人や企業の寄付。支えてくれる人がいるからこそ成り立っているすごい施設。

作業内容は利用者のためにベッドメイキングしたり、ハウスをきれいに保つために掃除したり、利用者さんのために食事を作ったり。

## 3. なんて友達を誘ったの？

まず人と人とのつながりで施設を知った。そしてボランティアとして自分が参加してみて、一生懸命利用者さんのために綺麗にすることが面白いと感じたから。僕は面白いと感じたけど、あの友達がこのボランティアに参加したらどう思うだろう？不思議に思ったから。

## 4. どう友達はボランティアに参加してた？



この日した作業は、キッチンの掃除・消毒、ごみの回収、リビングルーム・プレイルームの掃除・消毒、ランドリールームの掃除・消毒。

友達にボランティア作業を教えてくれたのは、先輩ボランティアさん。コロナ禍の時から参加しているそう。

先輩ボランティアさんのアドバイスを聞きながら、水ぶきとアルコールぶきを切り替え掃除をしていく。細かい箇所も気を配って拭き上げ一生懸命作業に取り組んでいた。

すれ違う利用者さんへも積極的に挨拶をしてよい雰囲気の状態を保っていた。



## 5. 友達はボランティアに参加してどう思ったの？

友達が何を思って私の誘いに乗ってボランティアに参加し、ボランティア作業から何を感じたのか、インタビューした。

Q.なぜボランティアに参加してみようと思ったの？

⇒やったことがないし、直接知っているひとが誘ったので1回参加してみようと思った。知っているだけでは参加しなかった。

Q.参加してみてどうだったか？

⇒使っている人のためを思っていることが分かった。アルバイトであんなに気を使わない。やること多いけどきつくない。3時間だけあればいいっていうのがいい。こういうボランティアって延長がありそうだと思ってた。やるべきことが決まっているのもよい。続けられそう。

Q.どうして続けられそうだと思ったの？

⇒社会貢献してみたいと思った。アルバイトとは目的が違う。バイトだと社会貢献というよりお金を稼ぐために働く。正直言ったらお客さん優先じゃない。今日めっちゃ消毒とかしたけど、(アルバイトなら)しない。お客さん優先じゃないから。よっぽどひどいのはだめだけど。ボランティアならお金のためにやってないから社会貢献が目的の一番上に来る。誰を助けてるのか、わかるのがよい。だから他のボランティアとかなら参加してない。お金もらえるならもらいたいけど、お金がでないからいいとも思う。

## 6. ボランティアに誘ってみてどうだった？

ボランティアという活動を通して、友達が新たな視点や考え方をもらったことが嬉しかった。それはアルバイトや大学で授業を受けるだけでは得られない大事な考え方だと思うし、この価値観が共有できることは幸せなことなんだろうと思った。

## 7. その後の友達の様子

アルバイト先に、学校に、行く・行かないという選択肢しかなかった彼に新しく「ボランティアに」行く・行かないという選択肢が生まれた。高校生の時から続けているアルバイトと、もはや惰性で所属しているだけだった大学以外の選択肢が増えた。

できること、やることが増えたため目の前の課題に対しての集中度合いが上がった。具体的には遅刻・欠席の頻度が減り(まず学校に来るようになってる!)、またある授業では寝ることなくノートを取るようになった。

## 8. 伝えたいこと

思ったより、ボランティアは面白い。初めて会う人達とともに誰かのために、「どうすればより快適に過ごしてもらえるのか」を意識しながら作業をすることで一段と自分が優しくなれた気がする。心に余裕がない時こそ本当はボランティアが必要なかもしれない。

